

東京お茶の水ロータリークラブ



イマジン ロータリー

2022-2023 年度 RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ

世界一「元気なクラブ」を目指して!



2022-2023 年度 クラブ会長 木宮 雅憲

本日の卓話

今どきの税事情

河添博税理士事務所 河添 博様

プログラム

司会進行
開会点鐘
ソングリーダー¹
ゲストビジター紹介
ニコニコボックス報告
会長報告
幹事報告
出席報告

海江田健司会員
木宮 雅徳会長
西村美智子会員
張 碧華会員
海江田健司会員
木宮 雅徳会長
相倉 辰徳幹事
海江田健司会員

ゲストビジター

ゲストスピーカー
東京神田 RC 会長
東京神田 RC 幹事
東京神田 RC

藤本 利夫様
纏纏 公夫様
松本 博之様
大家 正光様

ニコニコボックス報告

纏纏公夫様 新年度 7/1 より東京神田 RC 会長を務めます。宜しくお願ひ致します。
松本博之様 本日は宜しくお願ひ致します。
青木会員 藤本利夫様、本日は宜しくお願ひ致します。
張 会員 本日の卓話を楽しみにしています。
土居会員 神田 RC 纏纏会長、松本幹事、よくお出で下さいました。昨日、高山さん案内の神田明神コンサート参加させて頂きました。有難うございました。
藤本会員 湘南ヘルスケアイノベーションパーク、宜しくお願ひします。
海江田会員 藤本様、本日の卓話を楽しみにしております。ありがとうございます。
永井会員 本日はご多忙の中、藤本利夫様、卓話をありがとうございます。楽しみにしております。
大原会員 卓話を楽しみにしています。
岡田会員 昨日の鎮守の森コンサートご参加の皆様、お疲れ様でした。ピアノ演奏良かったですね。神田画報 7 月号お読みください。
高山会員 昨日の鎮守の森コンサートにご参加頂いた皆様、お手をわざらわせた木宮会長、岡田さんありがとうございました。
山下会員 本日の卓話を楽しみにしております。
計 47,000 円 署計 24,000 円



米山表彰 張会員 纏纏 文夫様 松本 博之様

挨拶 東京神田ロータリークラブ会長 纏纏 公夫様
本来であればグランドパレスから同じホテルに会場をもち、親クラブと子クラブが分かれてしまい、大変残念なことだと思います。今後、何かの縁があった時には、同じ会場、同じ方向で動いていければと思います。今後共宜しくお願ひいたします。

挨拶 東京神田ロータリークラブ幹事 松本 博之様
コロナ禍で 2 年メーフィヤップができなかったので、今日は新鮮です。去年、ZOOM のセッティング等で木宮さんに来て頂きました。いつまで ZOOM をやるんだろうと思っていましたが、今日、会長、幹事が汗を流しているのを見て、これははずっとやり続けなければいけないのかな…と思いました。

会長報告 木宮 雅徳会長

- ・米山記念奨学会より、張会員に第 16 回メジャードナーの表彰です。
- ・当クラブのプロジェクト「河川清掃とウォーキングプロジェクト」が、2021-22 年度、意義ある奉仕賞に受賞いたしました。ウォーキングクリーンプロジェクトに続いての受賞です。表彰状の贈呈は、9 月 10 日の地区大会で行われる予定です。

幹事報告 相倉 辰徳幹事

- ・7 月度定例理事役員会議事録を配布致しました。ご確認ください。
- ・会員名簿の掲載項目が選択性になりました。お知らせを配布しましたのでご確認願います。
- ・9 月 10 日（土）開催、地区大会のご案内を配布致しました。今回は全員登録ですが、出欠の連絡をお願いします。スケジュール等の詳細は本日、メールにてお送りします。
- ・10 月 23 日に公共イメージ委員会が実施する、世界ポリオデー 2580 で、ポリオ T シャツを着て街頭募金活動することになりました。T シャツ購入の方は事務局までお願いします。
- ・親子はねやすめへのご協力ありがとうございました。
- ・次週 7 月 20 日の例会場は、ブックハウスカフェです。お間違えの無いようお願ひ致します。

出席報告

会員数	36 名	ゲスト	1 名
出席数	21 名	ビジター	3 名
ZOOM	2 名	合計	27 名

今後の卓話

7/27(水) 休会
8/3(水) 東京ドームホテル
渡辺 和久会員
「イニシエーションスピーチ」

我が国における医薬品開発の現状とこれから

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク
ジェネラルマネジャー 藤本 利夫様

紹介者 藤本 豊大会員

医薬品産業の研究開発はパラダイムシフトが起きている。医薬品の主流は従来の合成化学を利用した低分子化合物からバイオ医薬品へとシフトし、さらに最近、細胞治療、遺伝子治療、核酸医薬品という選択肢も現れて多様化している。このため一社ですべての技術を完結させる研究開発モデルが成立しなくなっている。オーブンイノベーションに舵を切る企業が増えている。欧米ではすでに大学等で生まれた技術をもとに数多くのスタートアップが立ち上がり、一定のステージまで育てたのちに製薬企業が買収する役割分けが確立している。実際、現在世界で開発されている医薬品パイプラインの70-80%は一つも上市薬剤をもたないスタートアップが開発しており、いずれの大手製薬企業もそのポートフォリオの半分ほどは外部からの導入品である。以上の理由から、アカデミアは革新的な発見を臨床へ（産業化へ）つなげる手段として、スタートアップは製薬企業との提携や買収の機会を見つけるため、ベンチャーキャピタル（VC）は魅力的な投資対象を見つけるため、製薬企業は自社の開発品を拡充するために、すべてのプレーヤーが集積するエコシステムに拠点をおいている。

エコシステムとは、設立から間もないスタートアップから、老舗の大手製薬企業までが集積し、市場への参入、退場がダイナミックに起こる場である。またアカデミア（大学）、スタートアップ、製薬企業、VC、政府機関、など産官学のさまざまなプレイヤーが集い、共存している場ともいえる。海外ではアメリカを中心にボストン、サンディエゴ、サンフランシスコなど成長しているバイオテクエコシステムがあり、Moderna や Illumina など数多くの世界的なバイオテクスタートアップを生み出している。こうしたエコシステムを形成した都市には、企業のみならず技術をもった人材の集積も加速している。現在世界各国が成長産業としてヘルスケア産業に注目しているなか、多くの国多くの都市がエコシステムを形成しようと躍起になっており、世界で人材と技術の獲得競争となっている。

日本には世界的な競争力をもった基礎研究を行っている大学が数多くあり、さらに世界有数の製薬企業が多く医薬品を生み出してきた歴史もある。一方で人材の流動性に乏しく、産官学のダイナミックな連携を可能にする交流が生まれにくい環境にある。研究者のキャリアも大学や大企業のなかで完結することが多く、リスクをとって起業するという選択肢はまだまだ一般的ではない。現在の日本経済の

低迷は、人材の教育体制も含めて過去の成功体験に囚われており、視野が日本の中に閉じている、さらには一企業、一大学の中でマインドセットが閉じて

いるからだと考えている。エコシステムにおける人材の集積を進めて、セクター間の交流を促して視野を広げていくことが必要である。

このようなエコシステム構築の試みとして、武田薬品工業が運営している湘南アイパークがある。現在、入居やメンバーシップの形で140以上の会社・団体が湘南アイパークに参加しており、2200名を超える人材が集積している。この集積を生かして、会社を超えた交流を促している。具体的には毎週行われている講演会や交流会、さらには会社を超えた勉強会・抄読会などで、さまざまな企業・大学の研究者たちが交流を深めている。また、会社の枠を超えたボランティアで形成されるサイエンスメンターが、それぞれの専門分野においてノン・コンファレンシャルベースでの相談に応じたり、弁護士、会計士など専門家のグループが事業計画やバックオフィスの支援をしたりすることで、ベンチャー企業の新規の研究や事業が進みやすくなるような支援体制を整えている。さらに、ヨガからサッカーまで20近いクラブが複数の企業の従業員で構成されており、業務を離れた時間においても会社を超えた交流が行われている。

湘南アイパークは開所から4年が過ぎ、これまでさまざまな方々の支援のおかげで一定の企業、団体の集積がみられている。ただ世界で成功しているエコシステムと比べるとまだ規模が小さく、スタートアップの数もまだ足りない。今後は湘南アイパーク内にさらに多様なスタートアップや企業を誘致していく一方で、ボストンのように町全体で医薬品産業が活性化し、人材と技術が世界から集積する地域となれるよう、周辺地域との連携も強めていきたい。具体的には、開所以来、神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南鎌倉総合病院と連携して定期的に協議会を開き、周辺住民にも開かれた「ヘルスイノベーションの最先端拠点」の形成を目指して、「次世代健康管理」「ヘルスケア MaaS」「スポーツ振興」といったテーマで研究や実証実験を進めている。

基礎的な人材の質、創薬の歴史、産業の充実を見る限り、日本がエコシステムを整え、ふたたび創薬の最前線に躍り出るのは難しい話ではないと考えている。

